

あそびのししぴ

走り回って狩猟競争

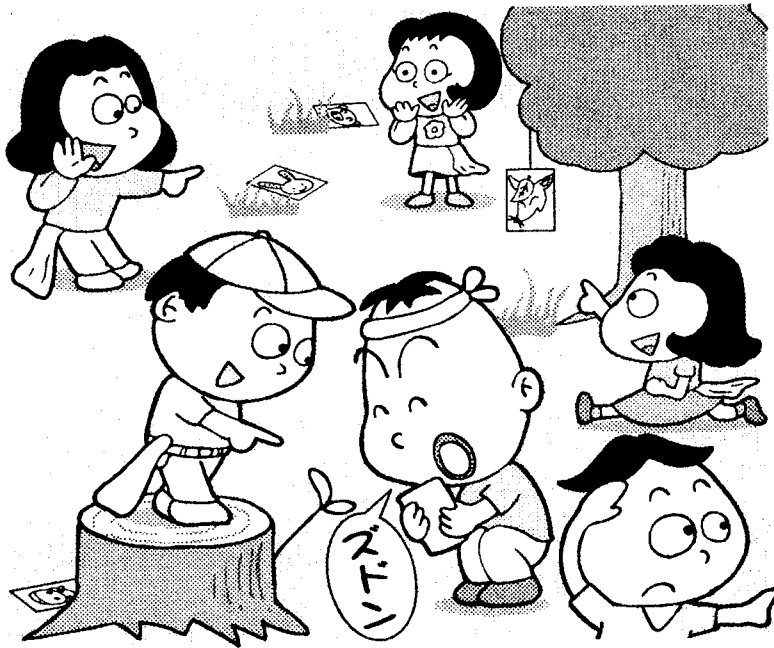
ハンターゲーム

いよいよ夏本番です。天気の良い日には、広いキャンプ場で野外ゲームを楽しみますか。

今回の遊びは、木陰や草原

を使った大人数で楽しむ遊びの決定版です。班の中の役割分担や作戦など、いろいろな考えながらみんなで広い大自然の中を駆け巡りましょう。

う。
体力に自信がある人は体力に任せてその役を。自信がない人だってそれなりに動いて、班に貢献しましょう。登山やハイキングに変わる、新しい野外での遊びを紹介しま



【人数】30人以上

【場所】広い原っぱ

【道具】獲物カード（クマ、シカ、キツネ、タヌキ、ウサギなどを書いた名刺大の紙数十枚とタオル各自1枚）

【遊び方】

①5-7人の班を作る。猟師1人を決めて、猟師は印として頭にタオルを巻く。残りの人は猟犬となり、印としてタオルを腰につす。

②主催者は、獲物カードを広い原っぱに、難易度を考えながら手分けをして置く（隠す）。

③猟犬は獲物を探す。獲物を発見したら、犬の言葉で猟師を呼ぶ。犬は自分で獲物を取れない。

④猟師は猟犬が見つけた獲物を「ズドン」と言って取る。他の班の猟犬が見つけた獲物も取ることができる。

⑤狩猟開始と終了の合図、集合点も決めておくと集まりが早い。

⑥獲物カードの得点と各班の獲物数と得点を発表。2回戦を始める前には、作戦タイムを設ける。2回戦では、獲物カードの得点を倍にする。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092(882)0363